

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年4月13日(2023.4.13)

【公開番号】特開2023-43929(P2023-43929A)

【公開日】令和5年3月30日(2023.3.30)

【年通号数】公開公報(特許)2023-059

【出願番号】特願2021-151679(P2021-151679)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 326Z

A 63 F 7/02 352L

A 63 F 7/02 352F

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月5日(2023.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記憶媒体に記憶された価値にもとづく信号であって遊技用装置から出力される信号を受信可能な遊技機であって、

前記遊技用装置から出力される信号にもとづいて遊技価値を付与可能であり、

前記遊技用装置から記憶媒体を返却する返却操作に関する第1制御と、前記遊技用装置から出力される信号にもとづく遊技価値の付与に関する第2制御と、を実行可能であり、

遊技に用いられる遊技価値と付与される遊技価値との差分に関するカウンタ値を算出可能であり、

30

カウンタ値が作動値になる場合、遊技の進行を停止する制御を行い、

遊技の進行を停止する制御を行っている場合でも、前記第1制御および前記第2制御を実行可能とした、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1に記載の遊技機は、

記憶媒体に記憶された価値にもとづく信号であって遊技用装置から出力される信号を受信可能な遊技機であって、

前記遊技用装置から出力される信号にもとづいて遊技価値を付与可能であり、

前記遊技用装置から記憶媒体を返却する返却操作に関する第1制御と、前記遊技用装置から出力される信号にもとづく遊技価値の付与に関する第2制御と、を実行可能であり、

遊技に用いられる遊技価値と付与される遊技価値との差分に関するカウンタ値を算出可能であり、

カウンタ値が作動値になる場合、遊技の進行を停止する制御を行い、

遊技の進行を停止する制御を行っている場合でも、前記第1制御および前記第2制御を

50

実行可能とした（図12-57、図12-58）、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技機の商品性を高めることができる。

10

20

30

40

50